

国民の願い実現へ全力 消費税10% 許せない!

日本共産党 前衆議院議員 (比例中国)

喜 信
大平 よしのぶ

おお ひら



【略歴】1978年広島市出身。広島市立舟入高等学校卒、広島大学学校教育学部卒。日本民主青年同盟広島県委員長など歴任。2014年12月の総選挙で初当選。衆議院議員1期(文部科学委員、災害対策特別委員、憲法審査会委員)、議席奪還を期す。現在、党准中央委員。府中町在住。家族は妻と一男。

消費税10%増税が国民生活を直撃しようとするなか、日本共産党の大平喜信前衆議院議員は、国民の暮らしを守り、国民の願い実現に全力をあげています。

各地で増税中止を訴え

日本共産党は2日から9日まで「10月消費税10%ストップのため」の全国いっせい宣伝行動を取り組み、大平よしのぶ前衆議院議員も中国地方各地で宣伝しました。

2日は広島市の繁華街でキックオフ宣伝。日本共産党が提案する「消費税に頼らない」と訴えました。

5日には、広島県三次市内8カ所で街頭宣伝。伊藤よしのり市議と、消費増税の中止を呼びかけました。

別の道」を紹介し、「消費税を増税しなくても優遇されている大企業や富裕層に応分の負担を求めれば、暮らしを支える財源は賄える」と訴えました。

西日本豪雨災害、イージスアショア配備、福山道路…



政府へ要請聞き取り

大平前議員は8月28日、地方議員や住民団体の代表らと上京し政府交渉。西日本豪雨災害で

は、田辺昭夫倉敷市議、藤井とし子広島市議とともに被災者の医療費・介護保険利用料の減免制度の延長を再度求めました。山口県議団とは、イージスアショア配備に関連する適地調査のズサンさを追及。「福山バイパスと区画整理を考える会」代表や福山市議団とは、市街地を縦断する福山道路問題で政府の見解を正しました。(写真)

災害から1年

困難続く被災者の生活再建 仁比前参院議員と現地調査

大平前衆議院議員は8月27日、仁比聡平前参院議員と共に、昨年7月の西日本豪雨で甚大な被害を受けた広島市安佐北区口田南5丁目を訪ねて復旧状況などを調査しました。

現地では、計画されている砂防堰堤の設置や護岸工事の一日も早い着工と完成が求められ、住民と懇談した大平氏は「仮設住宅の入居延長なども含めて、早急な工事を国に求めます」と約束しました。



住民から要望を聞く大平、仁比の両氏ら